

令和6年5月16日  
令和6年度 新潟市防災会議水防部会

資料 4

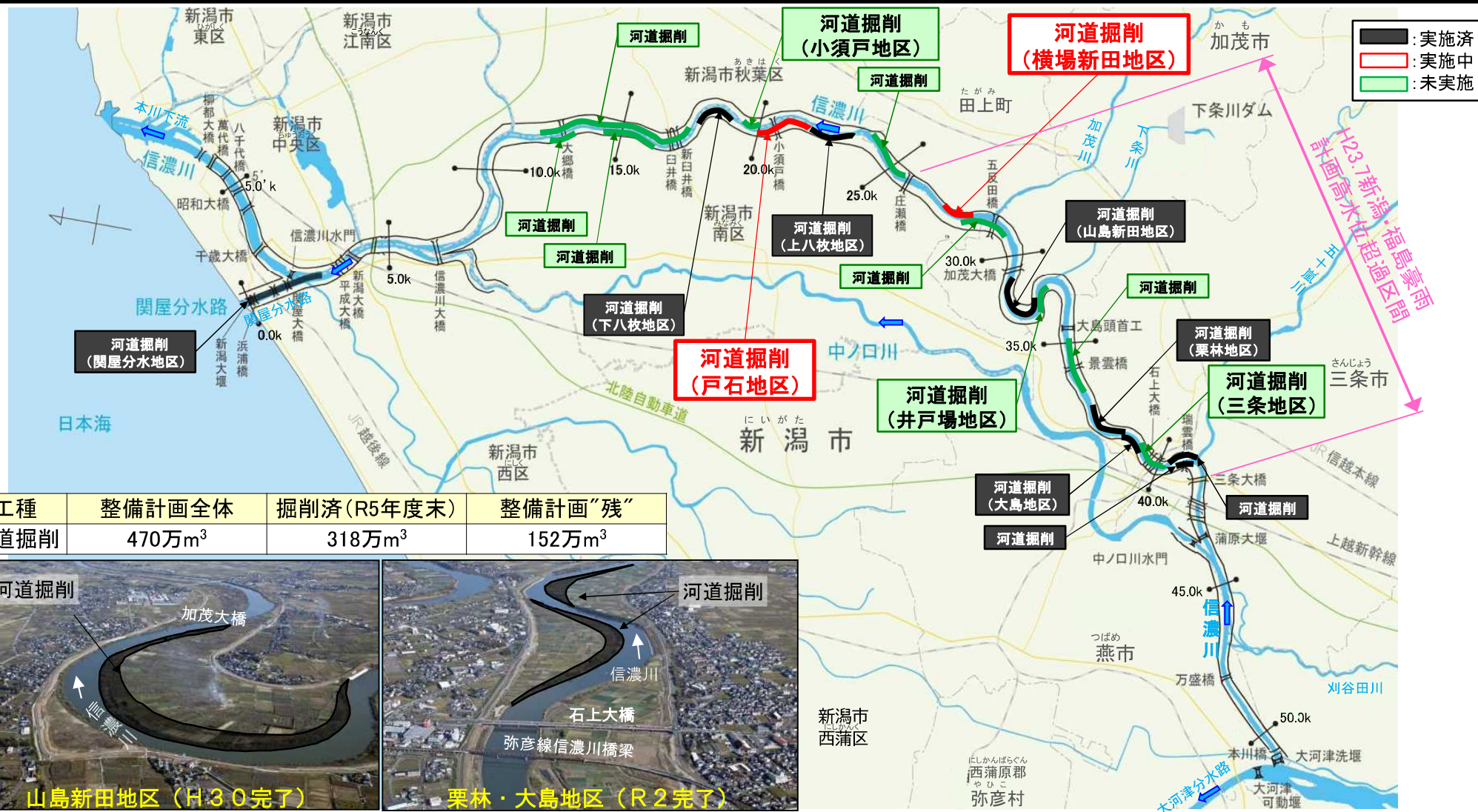
# 信濃川下流河川事務所の 令和6年度の主な事業について

国土交通省 北陸地方整備局  
信濃川下流河川事務所



# 河道掘削の進捗状況

- 平成23年7月新潟・福島豪雨で計画高水位を超過した区間の水位を低下させるための河道掘削は令和2年度までに完了しました。
- 河川整備計画規模の洪水を安全に流下させるため、引き続き流下能力が低い区間から順次、河道掘削を実施しています。



# 河道掘削の進捗状況(戸石地区)【工事実施中】

○ 新潟市南区戸石地区において、洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約65万m<sup>3</sup>の河道掘削を行っており、令和6年3月時点で約7割まで進捗しています。



▭ : 掘削済み箇所

▭ : 令和6年度掘削箇所

▭ : 全体掘削予定範囲

# 河道掘削の効果(事業連携、環境創出)

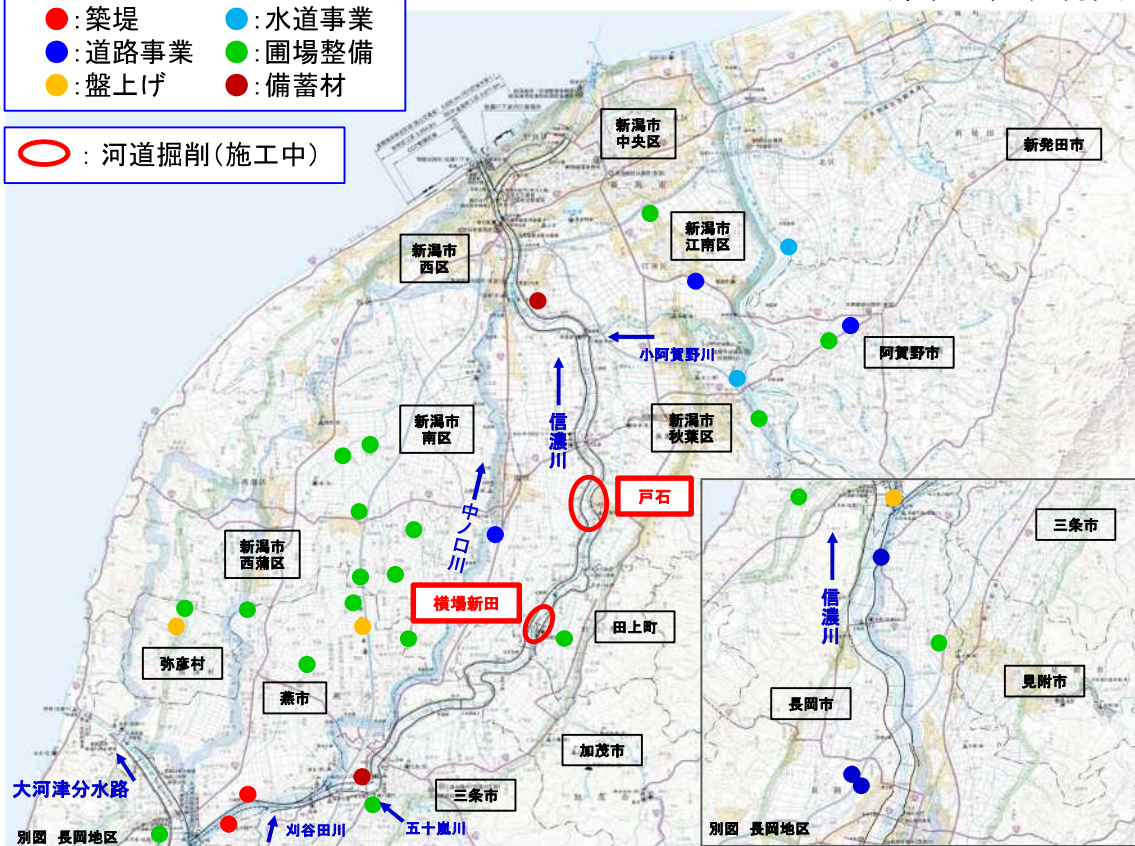
- 掘削した土砂は、農地、圃場整備や道路等の盛土に活用しています。
- 河道掘削とあわせて湿地環境を再生し、トキ・白鳥等の多様な生物が住める環境の創出に努めます。

## 【土砂搬入先】

- : 築堤
- : 水道事業
- : 道路事業
- : 圃場整備
- : 盤上げ
- : 備蓄材

○: 河道掘削(施工中)

(令和6年3月現在)



掘削前(H28)



掘削後(R3)



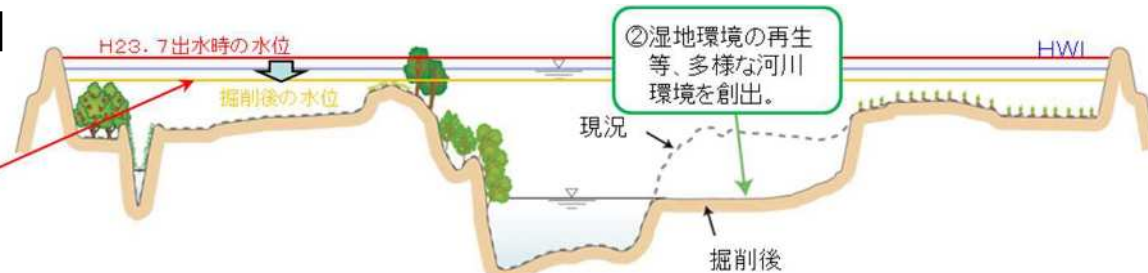
確認されたトウネン(R3撮影)



環境に配慮した施工箇所の工事後の状況(栗林・大島地区)

## 【河道掘削のコンセプト】

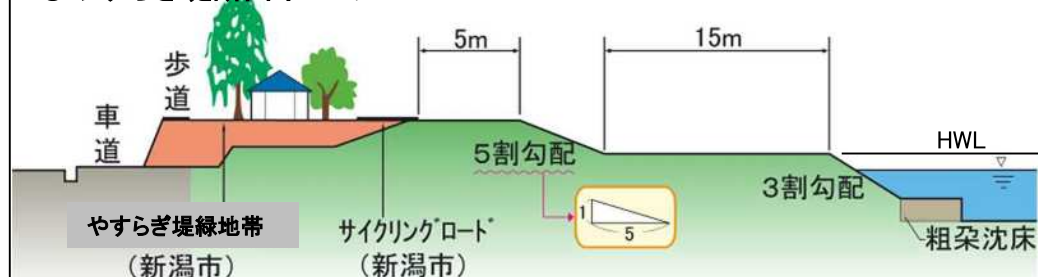
①水の流れる断面積を広げ、洪水時の水かさを下げる。



- 新潟市の市街地を流れる萬代橋から信濃川水門の区間では、洪水を安全に流すことに加え、信濃川の親水性や景観を高めるため、5割勾配のゆるやかな堤防「やすらぎ堤」の整備を行っており、令和6年度に堤防部分が完成する見込みです。
- このやすらぎ堤は、堤防下の地盤を強化しており、地震時にも液状化しにくい構造となっています。
- 新潟市のやすらぎ堤緑地帯の整備と連携しながら、「水都新潟」の魅力あるまちづくりを進めていきます。

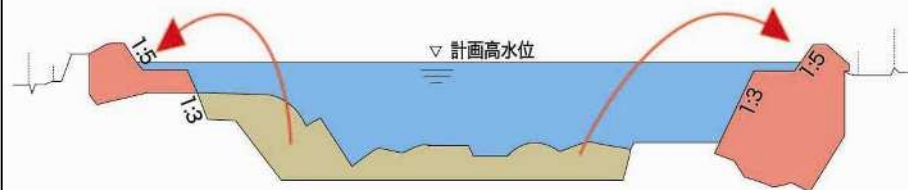


## ○やすらぎ堤断面イメージ



## ○河道掘削土砂による築堤(整備断面図)

洪水を安全に流すため、河道の掘削を進めるとともに発生した残土を築堤材として有効利用。



# やすらぎ堤にかかる経緯

年	1960～	1970～	1980～	1990～	2000～	2010～	2020～	2030～	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1964(S39)6月 新潟地震が発生し、液状化により護岸が被災</li> <li>● 1965(S40)4月 新潟県から国(直轄)に移管</li> </ul>		<p style="text-align: center;"><b>やすらぎ堤の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1983(S58)年度 工事着手</li> </ul>		<p style="text-align: center;"><b>完成予定 2024(R6)年度</b></p>				
やすらぎ堤の工事・事業	<p><b>静的締めめ砂杭工法</b></p> <p>堤防下に締め固められた砂杭を造成し、地盤を強化する工法。</p> 		<p><b>スラリー攪拌工法</b></p> <p>堤防下にセメントを主体とした固化材と地盤を攪拌混合し、改良杭を造成して地盤を強化する工法。</p> 		<p><b>地震・津波対策事業</b></p> <p>工事着手 2012(H24)2月 ● ● 2015(H27)11月 完成</p>		 <p>R1年の出店状況</p>		
	<p>信濃川左岸 リーとびあ前</p>  <p>S39新潟地震直後</p>		 <p>S62年頃 やすらぎ堤着工前</p>		 <p>現在</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2016(H28)2月 民間事業者等が店舗営業等ができるように都市・地域再生等利用区域 指定</li> <li>● 2016(H28)3月 かわまちづくり支援制度 登録</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>ミズベリング信濃川やすらぎ堤</b></p> <p>● 2016(H28)年度 始動</p> <p style="text-align: center;"><b>かわまちづくり整備</b></p> <p>● 2020(R2)年度 萬代橋・八千代橋間 完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2019(R元)年度 かわまち大賞 受賞</li> </ul>		



- 現小須戸橋は、もぐり橋のため洪水の流下阻害となっており、また、右岸側取付部の堤防では、周辺の堤防と比べて高さが不足しています。
- 道路管理者である新潟市との共同事業として、令和2年度に小須戸橋の架替事業に着手し、令和16年度完成を目指して進めています。
- 令和6年度は、左岸取付道路地盤改良工事、P3、P4、P8橋脚工事を実施します。





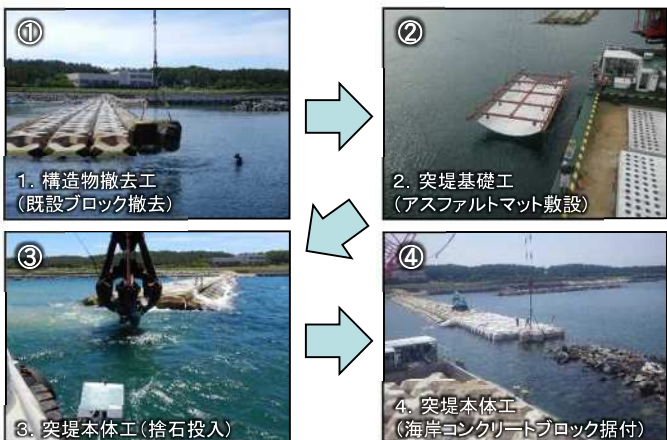
# 新潟海岸(金衛町工区) ヘッドランド整備 【工事実施中】

- 海岸の侵食対策として、金衛町第1工区の第2号ヘッドランドの延伸工事、第2工区の砂浜を復元する養浜工事を進めています。これらの対策により、波の打ち上げ高さを低減させ、背後地の安全度を向上させます。
- 能登半島地震により被災した第4号ヘッドランドの復旧を行います。



※ヘッドランドとは、T型または逆L型の人工岬

※人工リーフとは、人工的に造られた浅瀬



ヘッドランド施工順序

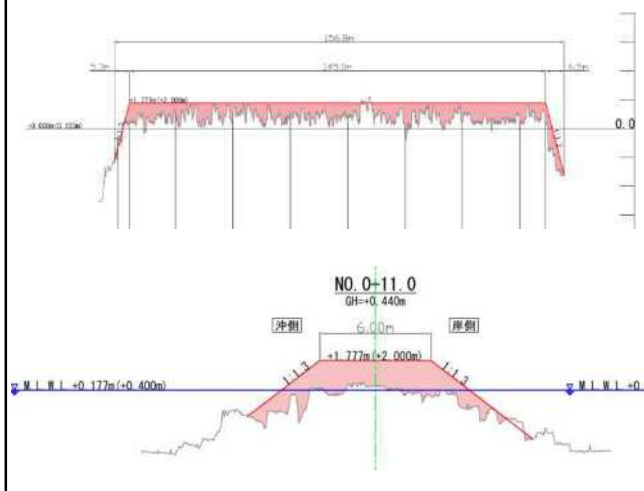


養浜状況(第2工区)  
令和3年10月撮影

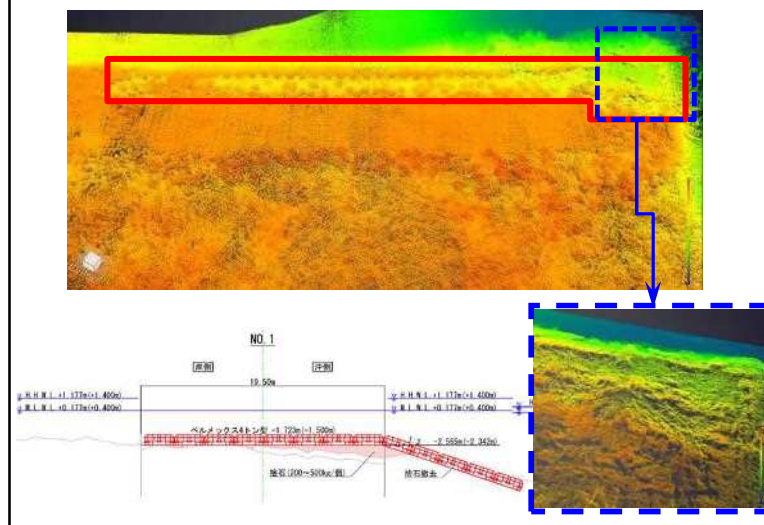
- 新潟海岸有明浜工区は、昭和52年度から直轄海岸として着手し、平成24年度に海岸保全施設(離岸堤、人工リーフ、緩傾斜護岸等)を完成させ、現在、モニタリング調査を行っています。
- 完成後、十数年が経過し、沈下等の変状をきたしているため補修工事を実施しています。



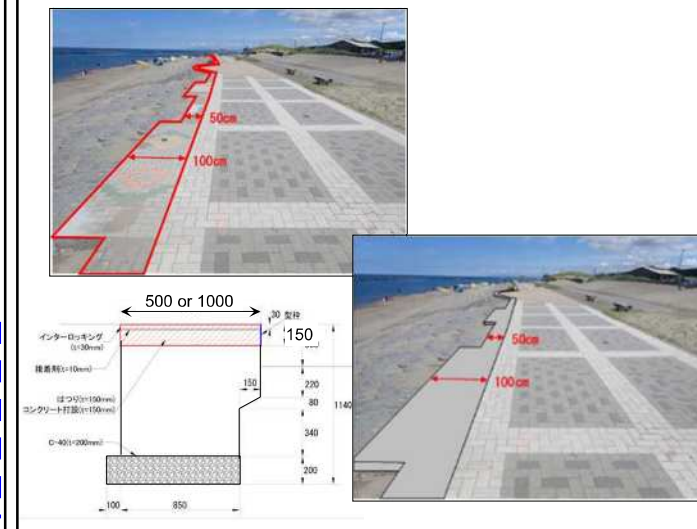
## 1. 離岸堤 5基 (D10, D16~19) 沈下等で高さが大きく不足した部分の高上げ



## 2. 人工リーフ 1基 (R13) 移動した被覆ブロックの再設置



## 3. 緩傾斜護岸 1式 巻止コンクリートの打ち替え



- 信濃川下流には大規模な河川管理施設(堰、水門、排水機場)が多くあり、中には、完成後40年以上が経過し、老朽化が進行している施設もあります。
- これらの施設が洪水時等に的確に機能を発揮するため、長寿命化計画に基づいて点検・補修を実施します。

## 堰・水門



塩害による腐食の影響がある部品の更新を行う。

新潟大堰主ゲート ワイヤロープシーブ及びワイヤロープの交換



ゲートの安全動作を確保するための修繕を行う。

中ノロ川水門調節ゲート 塗替塗装・主ローラ等の交換

## 排水機場



西川排水機場



鳥屋野潟排水機場

排水機場のポンプを点検し、必要な整備を行い出水に備えます。

- 令和6年は三条市、見附市などを中心に信濃川下流域に甚大な被害をもたらした「平成16年7月新潟・福島豪雨」から20年を迎えます。
- 「7. 13水害20年プロジェクト」として、令和6年5月から12月にかけて、巡回パネル展、インフラバスツアー、シンポジウムなど、地域防災力向上のための様々なイベントを実施します。

## 7. 13水害20年プロジェクト実行委員会 概要

### 設立目的

今年は、平成16年7月新潟福島豪雨から20年を迎えます。この節目の年を契機として、改めて豪雨災害を振り返り、地域の危機意識の向上・継続を図り、この災害で得た貴重な教訓をしっかりと次世代に継承し続けていくことが重要と考えます。そこで、信濃川下流域の関係機関が協力して地域防災力を高める取組を行う組織として、「7. 13水害20年プロジェクト実行委員会」を設置しました。

### 構成機関

見附市、三条市、新潟市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、新潟県（土木部、三条地域振興局地域整備部、長岡地域振興局地域整備部、新潟地域振興局地域整備部、新潟地域振興局新津地域整備部）、信濃川下流河川事務所

## 地震や火山、2024年は多くの災害の発生から節目の年

2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、中越大震災から20年という、多くの災害の発生から節目の年となります。本事業は「防災・減災にいがたプロジェクト2024」の一環として行います。

## 平成16年7月新潟・福島豪雨(7.13水害)とは

平成16年7月12日の夜から13日夕方にかけて、日本海から新潟県付近に停滞した活発な梅雨前線により、特に新潟県の長岡地域と三条地域において記録的な大雨がとなりました（13日の日雨量は栃尾観測所(气象台)で421mm/日を観測）。

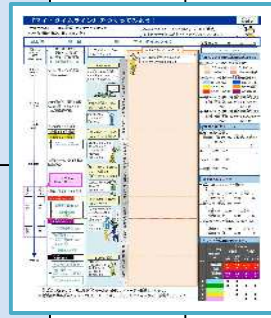
この大雨により信濃川の支川の刈谷田川、五十嵐川等の堤防が決壊し、濁流が市街地などに流れ込むなどして、新潟県内において、死者15名、家屋の全半壊が5,000棟以上となるなど、甚大な被害が発生しました。



五十嵐川破堤状況(H16. 7. 14 PM撮影)

## 7. 13水害20年プロジェクト 事業計画

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	<b>シンポジウム</b> 7. 13水害を振り返り、これからの防災について考える。 防災をテーマにしたフェアを同時開催。									
2	<b>巡回パネル展</b> 7. 13水害に関連することや防災に役立つ情報を紹介。									
3	<b>インフラバスツアー</b> 7. 13水害と治水事業を現地で解説。									
4	<b>防災キャンプ</b> 児童・生徒・市民が防災・減災について学べる体験型の学習活動を実施。									
5	<b>スタンプラリー</b> 7. 13水害や治水、防災に関連する施設を巡り、スタンプをためながら水害・防災を学ぶ。									
6	<b>マイタイムライン教室</b> 実際に洪水が起きた時にどう行動するのかということマイタイムラインの作成を通じて学んでもらう。									



# 令和6年能登半島地震【地震の概要】

## ○ 地震概要(全国)

・令和6年1月1日16時10分頃の石川県能登地方で深さ16kmを震源とする地震により、石川県の志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。この地震により能登半島を中心に家屋倒壊等の甚大な被害が発生しました。

## ○ 能登半島地震における信濃川下流の状況(新潟県新潟市)

・信濃川近傍地震観測所の新潟市中央区美咲町において震度5強を記録し、関屋分水路上流付近の信濃川両岸にて堤防が被災しました。



年月日	体制等
R6.1.1(月) 16:10	地震災害 警戒体制 発令 ※管内で震度5強観測
R6.1.1(月) 17:15	各種巡視点検 順次開始
R6.1.2(火) 15:00	地震災害 非常体制 移行 ※緊急復旧工事を実施
R6.1.2(火) 19:00	緊急復旧工事に着手 ※新潟市西区平島地先
R6.1.2(火) 19:30	各種巡視点検 全て終了 ※被災箇所を複数確認
R6.1.3(水) 8:30	災害応援 警戒体制 発令 ※TEC-FORCE派遣
R6.1.4(木) 14:00	緊急復旧工事が完了 ⇒ 地震災害 注意体制 移行
R6.2.8(木) 17:00	災害応援 警戒体制 解除
R6.4.1時点	地震災害 注意体制 継続中 ※被災箇所の本復旧が未完

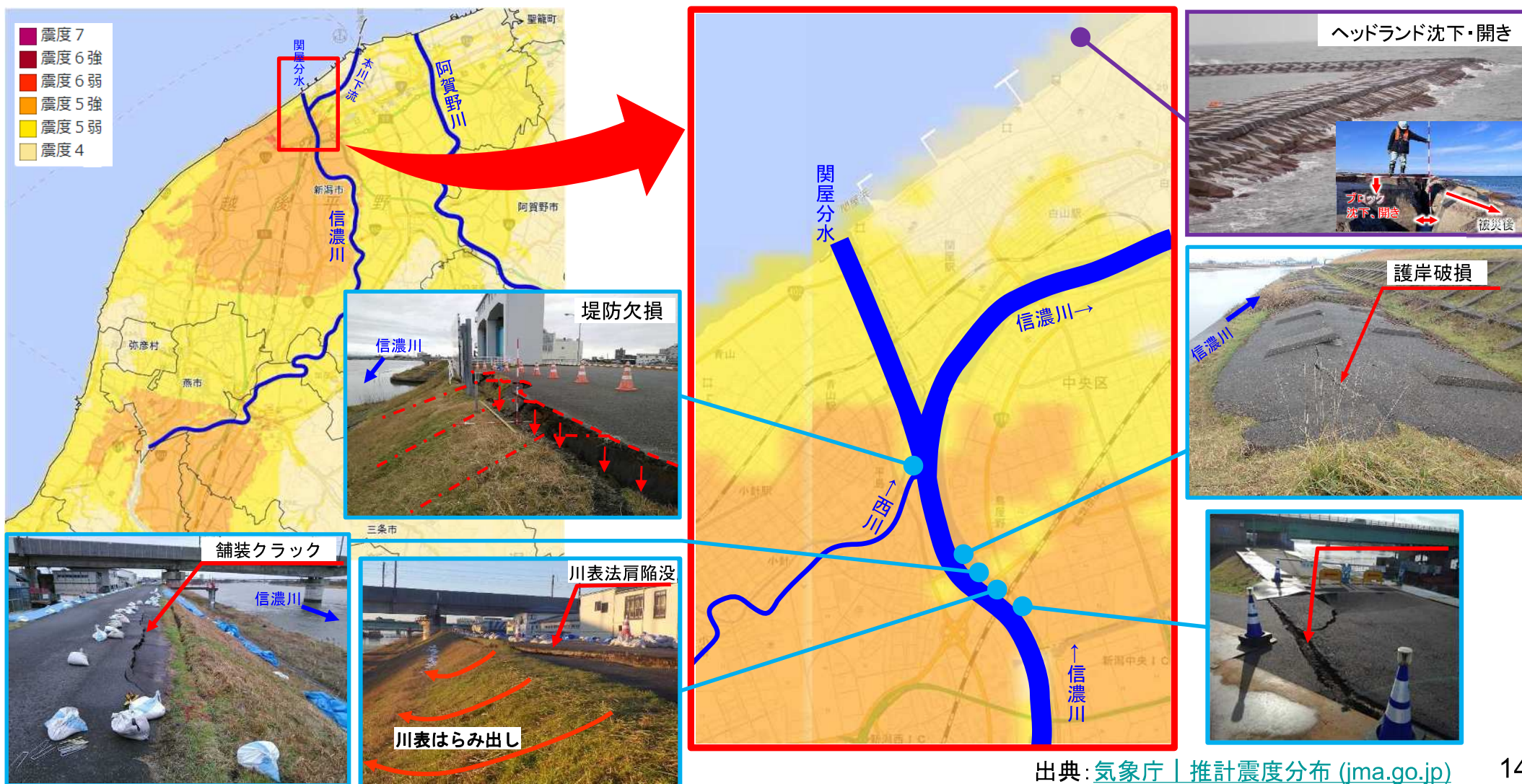
## 地震の概要

検知時期 (最初に地震を検知した時刻)	1月1日16時10分
発生時刻 (地震が発生した時期)	1月1日16時10分頃
マグニチュード	7.6(速報値)
発生場所	石川県能登地方(輪島の東北東30km付近)ごく浅い
発震機構	北西—南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)
震度	【最大深度7】石川県の志賀町(しかまち)で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測
地震活動の状況 1日17時30分現在	16時以降、震度1以上を観測した地震が19回発生(震度7:1回 震度5強:3回 震度5弱:1回 震度4:8回 震度3:6回)
長周期地震動の観測状況	石川県能登で長周期地震動階級4を観測



# 令和6年能登半島地震【被災状況】

- 【河川管理施設】地震による慣性力や堤防基礎地盤の液状化に伴い、堤防欠損、堤防天端や護岸の亀裂等が発生したものと推定されます。
- 【海岸保全施設】地震による海底地盤の局所的な変状に伴い、ヘッドランド縦堤の被覆ブロック・捨石の沈下移動が発生したものと推定されます。

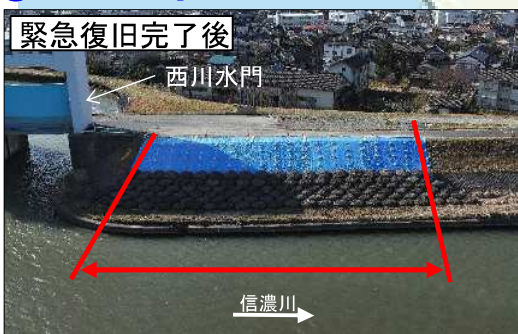


# 能登半島地震による被災箇所への復旧(河川堤防)

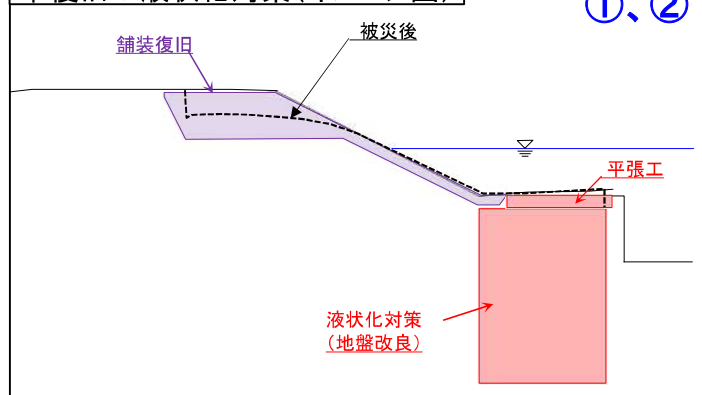
- 能登半島地震により、管内において、堤防の舗装や護岸等に変状等が5箇所(下図:①~⑤)確認されました。
- 西川水門下流の被災箇所(下図:①)は、堤防の被災が大きかったため、24時間体制での緊急復旧工事を実施し、約43時間で緊急復旧を完了させました。
- 被災箇所の5箇所のうち、被災箇所の2箇所(下図:①、②)については、液状化に起因した被災であることから、堤防の本復旧工事に併せて、液状化対策(地盤改良)も併せて実施します。

✖ 被災箇所  
✕ 被災箇所  
 (液状化による被災含む)

## ①西区平島



### 本復旧+液状化対策(イメージ図)



## ⑤中央区大島

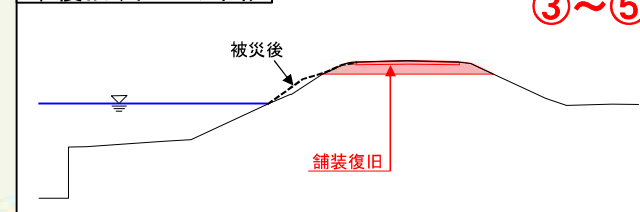


中央区

江南区



### 本復旧(イメージ図)



※その他軽微な変状箇所(3箇所)については、別途復旧済



# 天野河川防災ステーション(令和5年度完成)



← 信濃川

【凡例】  
□：国  
□：新潟市



# 信濃川下流河川事務所

## X (旧Twitter)公式アカウント

防災情報や記者発表、日々の業務の様子などを発信しています。



## YouTube公式チャンネル

関屋分水の紹介動画や施策に関するセミナー開催の様子などを発信しています。



## 関屋分水資料館

関屋分水の歴史や役割をわかりやすくパネルなどで知ることができます。

- ・所在地 新潟市西区関屋1827-39
- ・開館時間 4～10月 (9:00～19:00)  
11～3月 (9:00～16:30)

